

## 採点基準 世界史

※ 以下の加点ポイントは目安です (加点ポイントは< >でくり、得点を○の中に記入)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。

※ 学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しよう！

### 〔1〕 イベリア半島の歴史 (30点満点)

#### <1 ローマ帝国・西ゴート王国の時代> ※波線部は指定語句

- ① カルタゴがイベリア半島に拠点を持っていたこと (カルタゴ=ノウア, カルタヘナ 可) …1点
- ② ポエニ戦争でカルタゴとローマが対立したこと…2点
- ③ カルタゴのハンニバルがイベリア半島からイタリア半島へ侵入したこと…1点
- ④ ローマがカルタゴ支配下のイベリア半島を征服したこと…1点
- ⑤ ローマがイベリア半島を属州としたこと…2点
- ⑥ イベリア半島ではローマ化が進んだこと…1点
- ⑦ (⑥の内容として) ラテン語の普及/都市の建設/道路・水道橋の建設/金山の開発…2点まで加点
- ⑧ イベリア半島にキリスト教が普及したこと…1点
- ⑨ ゲルマン人の大移動が起こったこと (西ローマが減んだこと) …1点
- ⑩ (⑨のなかで) 西ゴート人 (西ゴート王国) がイベリア半島に侵入したこと…2点
- ⑪ 西ゴート王国がトレドを都としたこと…1点

#### <2 イスラーム支配の時代>

- ① イスラーム勢力によって西ゴート王国が滅ぼされたこと…2点
- ② ①はウマイヤ朝によること…1点
- ③ イベリア半島がイスラームの勢力下におかれたこと…1点  
※ ウマイヤ朝がトゥール・ポワティエ間の戦いで敗れたこと 可
- ④ ウマイヤ朝滅亡後イベリア半島に後ウマイヤ朝が成立したこと…2点
- ⑤ 後ウマイヤ朝はコルドバを都としたこと…2点
- ⑥ 後ウマイヤ朝が大モスクを建設したこと…1点
- ⑦ アブド=アッラフマーン3世がカリフを称したこと…2点
- ⑧ ⑦はファーティマ朝に対抗するためであること…1点  
※ 3人のカリフが鼎立したこと 可
- ⑨ イスラーム勢力下では宗教が併存したこと…1点
- ⑩ ギリシアの文献などがアラビア語に翻訳されたこと…1点
- ⑪ 後にキリスト教徒がアラビア語文献をラテン語に翻訳したこと…2点

※ 「大翻訳時代」など 可

- ⑫ ⑪はトレドが中心だったこと…1点
- ⑬ ⑪がヨーロッパの12世紀ルネサンスの基礎となったこと…2点
- ⑭ (⑬の例として) ローマ法の復興/哲学などの復興/建築技術の進歩/スコラ学への影響/  
イブン=シーナー/イブン=ルシュド …2点まで加点

### <3 レコンキスタ進展の時代>

- ① 後ウマイヤ朝が滅亡したこと…1点
- ② ①を機にレコンキスタ (国土回復運動) が盛んとなったこと…2点
- ③ ①の後イベリア半島には小王朝が乱立したこと…1点
- ④ カスティリヤ・アラゴン・ポルトガル王国などが成立したこと…2点  
※1つのみ記す場合1点, 2つ以上で2点
- ⑤ ムラービト朝がイベリア半島に進出したこと…1点
- ⑥ ムワッヒド朝がイベリア半島に進出したこと…1点
- ⑦ ⑤・⑥はモロッコに成立したこと…1点
- ⑧ ⑤・⑥はベルベル人の王朝であること…1点
- ⑨ ナスル朝が成立したこと…2点
- ⑩ ⑨はグラナダを都としたこと…1点
- ⑪ ⑨はアルハンブラ宮殿を建設したこと…1点
- ⑫ スペイン王国 (イスパニア王国) が成立したこと…2点
- ⑬ ⑫はアラゴン・カスティリヤが合併して誕生したこと…1点  
※ イサベル・フェルディナンドが結婚したこと 可
- ⑭ スペイン王国がナスル朝を滅ぼしたこと …2点  
※ グラナダを陥落させたこと 可
- ⑮ ⑭によってイスラームの支配が終了したこと…1点
- ⑯ ⑭によってレコンキスタ (国土回復運動) が完成したこと…1点

### <4 論理構成点> (解答欄の右下欄外に、「12+R 1=13」などとRをつけて記す)

- ① <1>~<3>それぞれに過不足なく触れていること…R1点
- ② 「支配の変遷」「文化面の影響」がどちらも記されていること…R1点

### [2] 近現代アジア諸地域の貿易統計 (40点)

問1 各3点

- ( a ) ムハンマド=アリー=パシヤ, メフメト=アリー 可
- ( c ) フェルディナン=ド=レセップス, フェルディナン=マリ=ヴィコント=ド=レセップス 可
- ( d ) スエズ運河会社 不可

( e ) モノカルチャー経済, 単一栽培 可

( f ) ベンジャミン=ディズレーリ 可

問2 2点満点

- ① アメリカ合衆国であること…1点
- ② (1861年から) 南北戦争が勃発したこと…1点

問3 (1) 1点 別解なし

(2) 9点満点 ※太字は2点。他は1点 (以下同)

- ① **インドでは綿布が生産されていたこと…2点**
- ② ①は家内制手工業によって生産されたこと…1点
- ③ ①は大西洋沿岸 (西ヨーロッパ) へ輸出されたこと…1点
- ④ ①はキャラコとして人気を集めたこと…1点
- ⑤ 18世紀後半からイギリスで産業革命が起こったこと…1点
- ⑥ 産業革命により紡績機や織機が開発されたこと (改良されたこと) …1点
- ⑦ **産業革命によって安価な機械製綿布が生産されたこと…2点**
- ⑧ インド産綿布がイギリス産綿布に価格競争で敗れたこと…1点
- ⑨ イギリス産綿布がインドや世界各地に輸出されたこと…1点
- ⑩ インドはイギリスの製品市場と化したこと…1点
- ⑪ インドはイギリスへの原料供給地へと転落したこと…1点
- ⑫ インドの家内制手工業が崩壊したこと…1点

問4 (1) 1点 別解なし

(2) 9点満点 ※グラフの選択理由が示されていない場合, 満点にしない

- ① **イランでは1979年にイラン革命が起きたこと…2点**
- ② イランでは近代化による貧富拡大などで不満が高まっていたこと…1点
- ③ 国王パフレヴィー2世が亡命したこと…1点
- ④ シーア派最高指導者ホメイニ師が革命政府を樹立したこと…1点
- ⑤ ホメイニ師は反ソ・反米を掲げたこと…1点
- ⑥ 革命政府が石油を国有化したこと…1点
- ⑦ **革命政府が石油減産を行ったこと…2点**
- ⑧ 中東産油国 (OPEC) が原油価格値上げなどを行ったこと…1点
- ⑨ 第2次石油危機が発生したこと…1点
- ⑩ **グラフ②では1979年に石油輸出額が減少していること…2点**
- ⑪ グラフ①・③は上昇していること…1点
- ⑫ グラフ②がイランだと考えられること…1点

※ (誤っていても) グラフの選択理由が示されていれば可

[3] マイノリティの歴史 (30点)

※正答は○, 誤答は／をつける。解答欄が空欄の場合も／をつける

※漢字の誤りは不可

※カタカナの軽微なミス (1文字まで。音引きの誤り含む) は, 1点減点。

※ V音→B表記は許容。B音→V表記は1点減点。

各2点

問3 クシャトリア 可

問4 アルビジョア派 アルビ派 可

問5 武則天 可

問6 韓~~芝~~, 朝鮮~~芝~~, 諺文 可 朝鮮文字 許容

ハングルなど 不可 (漢字でないため)

問8 バルトロメ=デ=ラス=カサス 可

問10 蒙古衙門 1点のみ (前身機関であるため)

以上